

# 3P213726-1A M07B110A

## ダイキンヒートポンプ式温水床暖房 ワイヤードリモコン据付説明書

ARC454A1  
KRC986A1

据付工事を行う前に必ず読んで、  
本書に従って工事をしてください。



二次元バーコードは  
製造用コードです。

室外ユニットの据付説明書も合わせてご覧ください。

### 安全上のご注意

- 据付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、据え付けてください。
- ここに示した注意事項は、次の2種類に分類しています。  
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

<b>警告</b>	誤った据付けにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
<b>注意</b>	誤った据付けにより、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの。 状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

- 据付工事完了後および各種設定確認後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。

### 警告

据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する  
ご自身で据付けされ不備があると、感電・火災などの原因になります。

移動・再設置は、自分でしない  
据付けに不備があると、感電・火災の原因になります。  
お買上げの販売店にご依頼ください。

据付工事は、この据付説明書に従って確実に  
据付けに不備があると、感電・火災の原因になります。

設置工事部品は必ず付属品および指定部品を使用する  
指定部品を使用しないと、本機の落下・感電・火災の原因になります。

据付けは、本機の重さに十分耐える所に確実に  
強度不足の場合は、本機の落下により、ケガの原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、  
「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する  
電源回路不良や容量不足、施工不備があると、感電・火災などの原因になります。

据付工事は、必ず電源をしゃ断して行う  
電源を入れたまま電気部品に触れると感電の原因になります。

分解や改造・修理をしない  
感電・火災の原因になります。

配線は、所定の電線を使い確実に接続し、端子接続部に電線の外力が加わらないよう  
確実に固定する  
接続や固定が不完全な場合、端子部の発熱・火災の原因になります。

### 注意

配線貫通部は、パテで養生する  
水や虫の侵入により、漏電や故障の原因になることがあります。

ぬれた手で操作しない  
感電や故障の原因になることがあります。

本機を水洗いしない  
感電や発火の原因になることがあります。

電源電線、連絡電線はテレビ、ラジオから1m以上離して設置する  
映像の乱れや雑音を防止するためです。  
(ただし電波状態によっては、1m以上離しても雑音が入る場合があります。)

次のような場所への設置は行わない

1. 鉱物油がたまり込み、調理場など、油の飛散や蒸気の多い場所  
樹脂部品が劣化し、部品の落下や破損の原因になることがあります。
2. 亜硫酸ガスなど腐食性ガスの発生する場所  
腐食による故障の原因になることがあります。
3. 電磁波を発生する機械がある場所  
制御系統に異常を生じ、正常な運転ができない原因になることがあります。
4. 可燃性ガスのもれるおそれのある場所、カーボン繊維や引火性粉塵の浮遊する場所、  
およびシンナー、ガソリンなど揮発性引火物を取り扱う場所  
万が一ガスがもれると、発火の原因になることがあります。
5. 高温の場所や直接炎などがあたる場所  
発熱・発火の原因になることがあります。
6. 湿気が多い場所、水のかかるおそれのある場所  
水がリモコン内部に入ると感電のおそれがあるほか、内部の電子部品が故障する  
原因になることがあります。

リモコンコードは強電線(照明配線、ルームエアコンの連絡電線など)および他の弱電線  
(電話線、インターホン配線など)と同一の電線管に入れしないでください。

据付場所は下記を考慮して選定する(据付場所はお客様の同意を得て決定してください。)

- ・ 床暖房パネルを敷設した部屋の平均的な温度が検知できる場所
- ・ 直射日光があたらない場所
- ・ 近くに熱源がない場所
- ・ ドアの開閉などによる外気の影響を受けない場所

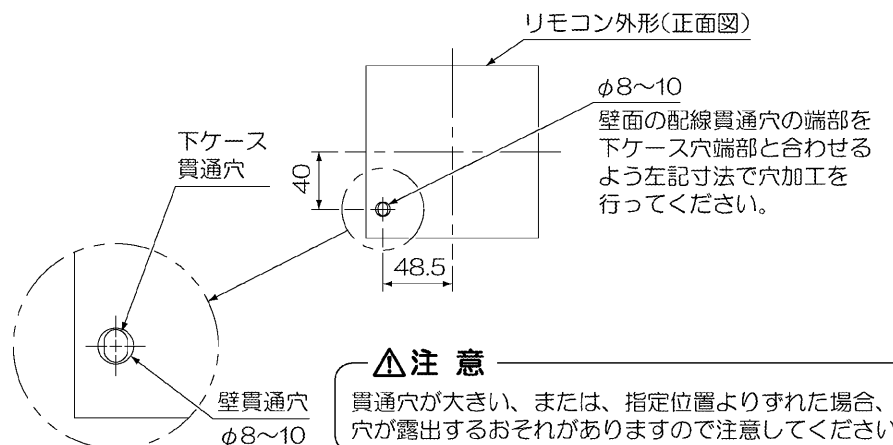
初期設定は付属リモコン(ARC454A1)で行います。据付場所に注意してください。

付属品 下記の付属品を確かめてください。

ARC454A1 の場合	室外ユニットの据付説明書をご覧ください。				
KRC986A1 の場合	木ネジ	小ネジ	結束バンド	据付説明書	配線押さえ
	(φ3.5×16)	(M4×16)			
	(2本)	(2本)	(1本)	(1部)	(1個)

### リモコン据付要領

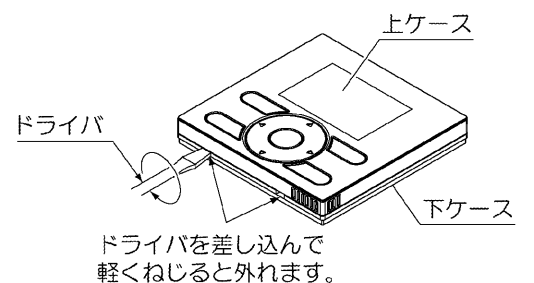
1. リモコンの据付位置を決めてください。  
据付位置は、左記の「安全上のご注意」に基づき、選定してください。
2. 壁面に配線貫通穴を開けてください。(後方抜き出しの場合のみ)



3. 上ケースを外します。  
下ケースの凹部に○ドライバを差し込んで、上ケースを外してください。(2カ所)

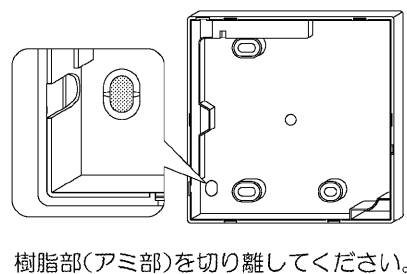
リモコン基板は、上ケースに  
ついてきます。  
ドライバで基板を傷付けない  
ように注意してください。

取り外した上ケースは基板上に  
ゴミあるいは水分などが付着し  
ないように注意してください。

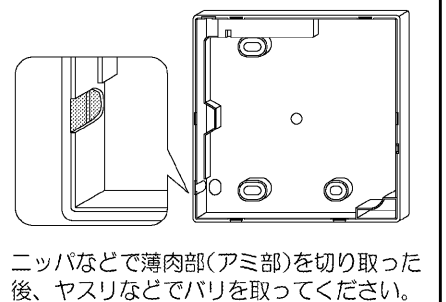


4. 配線の抜き出し方向を決めて下ケースを次の要領で加工してください。

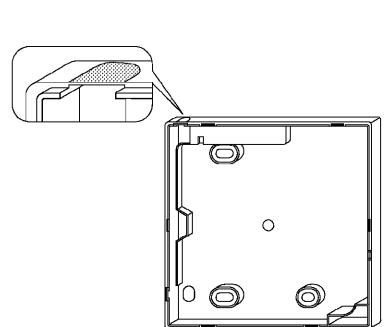
#### ①後方抜き出しの場合



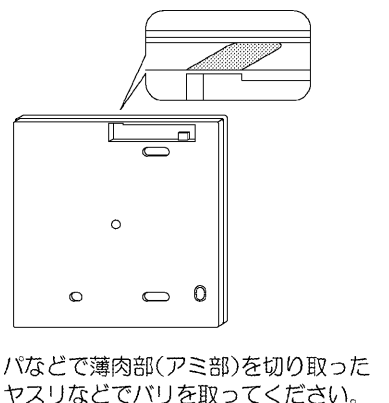
#### ②左抜き出しの場合



#### ③上方抜き出しの場合



#### ④上方中央抜き出しの場合



(裏面につづく)

## 5. 配線をします。

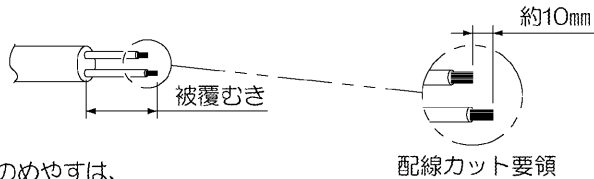
### △注意

1. スイッチボックスおよびリモコンコードは付属していません。
2. リモコン基板には直接手を触れないでください。

#### リモコンコード仕様

配線種類	シース付きビニルコード(2芯)	Y端子付の場合、リモコン側はY端子をカットして使用願います。
配線太さ	0.75mm <sup>2</sup>	
合計線長	50m	

リモコンケース内を通る部分は被覆むきを行ってください。

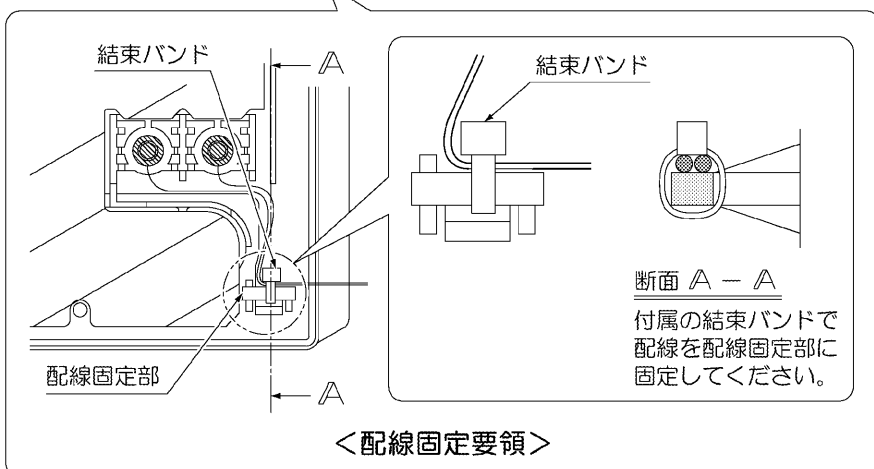
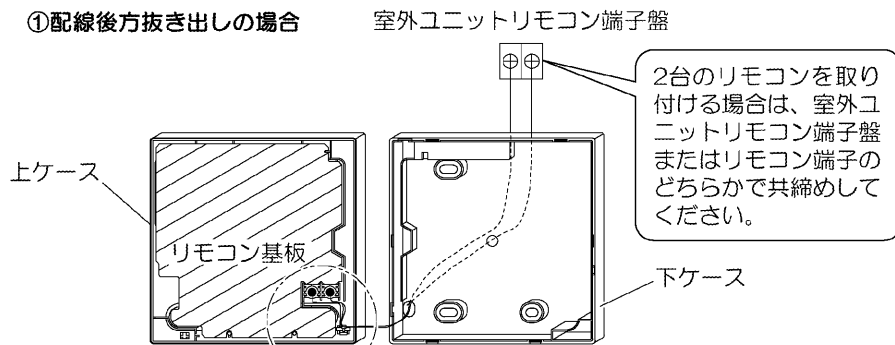


被覆むきのめやすは、

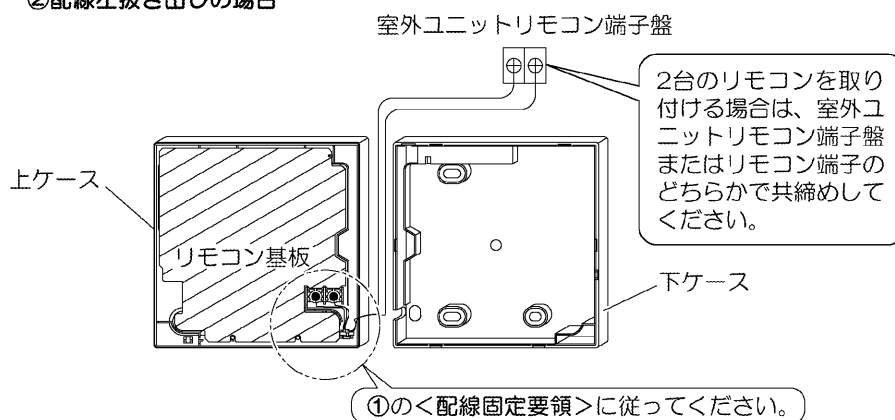
- ・上方抜き出しの場合で約150mm
- ・上方中央抜き出しの場合で約200mm

リモコン上ケース上の端子(P/P1, N/P2)と室外ユニットリモコン端子とを接続してください。(各端子の極性はありません。)

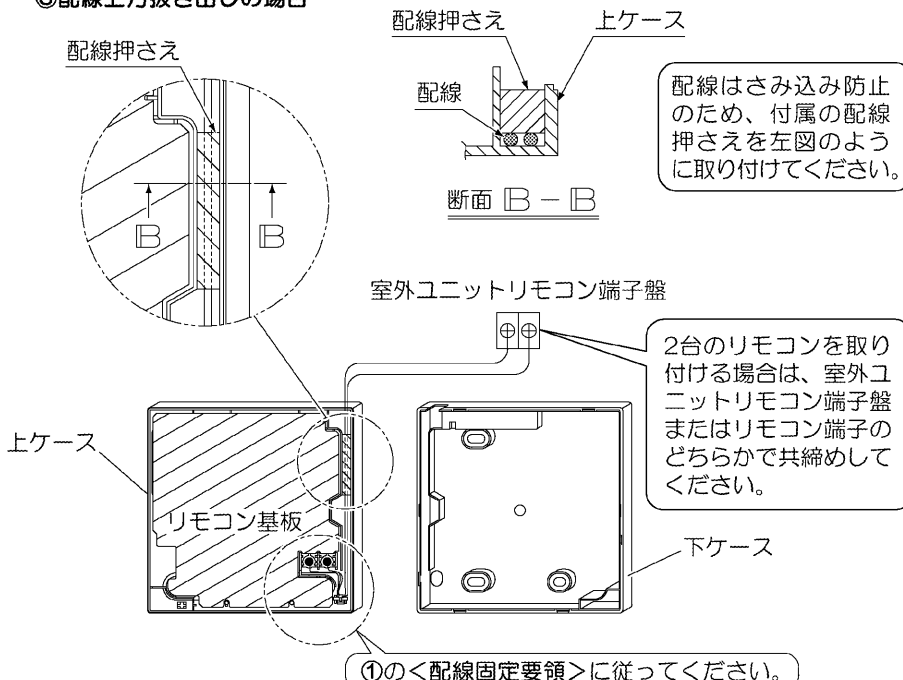
#### ①配線後方抜き出しの場合



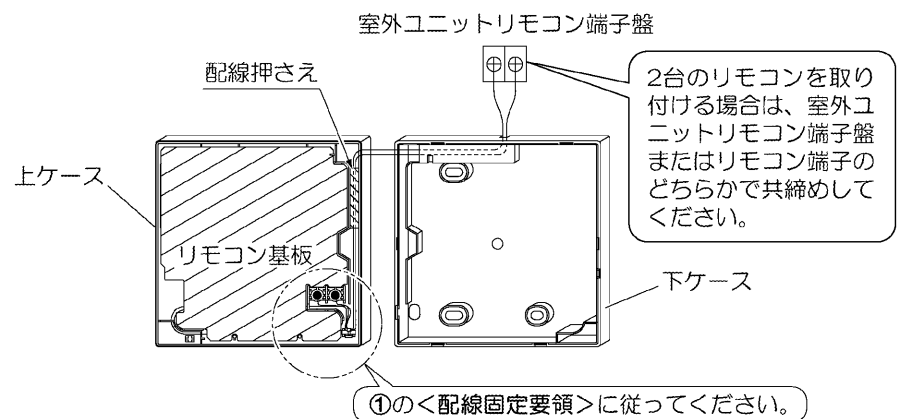
#### ②配線左抜き出しの場合



#### ③配線上方抜き出しの場合



#### ④配線上方中央抜き出しの場合



### △注意

配線の際には電気ノイズ(外来雑音)を受けないよう、動力線とは離して配線してください。

### △注意

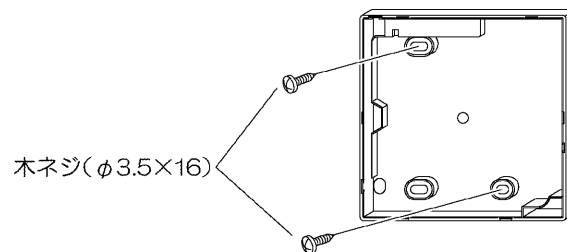
配線引込口は水や虫などの侵入防止のためパテ(現地手配)で確実にシールしてください。

## 6. 下ケースの固定要領

配線を上方中央抜き出し、または後方抜き出しとする場合は、固定する前にケースへの配線が必要となります。(5. ①または④を参照してください。)

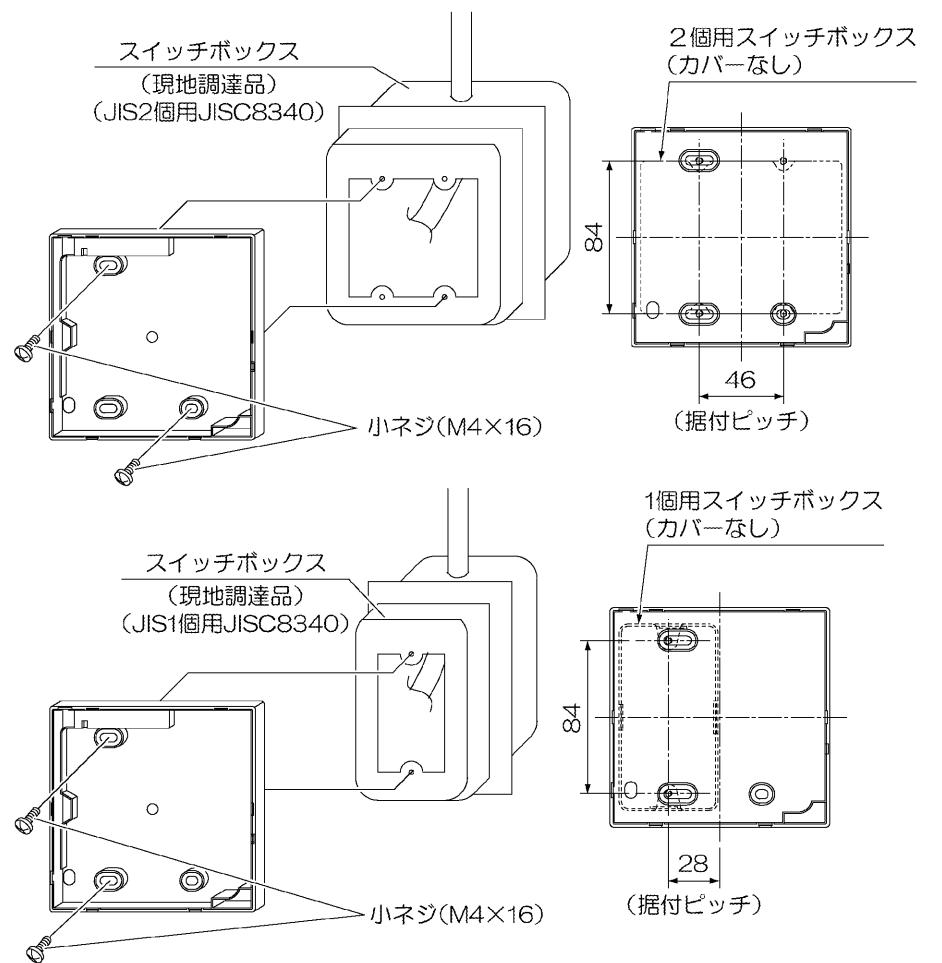
#### ①壁面据付けの場合

付属の木ネジ(2本)で固定してください。



#### ②スイッチボックスに据付けの場合

付属の小ネジ(2本)で固定してください。



### △注意

据付面はできるだけ平らな所をお選びください。また、取付ネジの締め過ぎにより下ケースが変形しないようにしてください。

## 7. 上ケースをもとどおりに取り付けます。

- 上ケースを下ケースのツメ(6カ所)に合わせ、はめ込み、取り付けてください。
- 配線をはさまないように注意して取り付けてください。
- 上ケースに貼り付けている保護シールをはがしてください。

